

# 書道教育専修

書道という伝統文化を用い、情緒豊かで社会に貢献できる生徒を育成する教員を育てます。

学びのポイント

## 1 奈良という恵まれた環境

奈良は、書道に関する文献資料が、正倉院をはじめ、多くの寺社や博物館に納められており、公開の機会は多くあります。また、墨や筆の製造は奈良がわが国を代表するものであり、ことに製墨業においては現在も全国生産の殆どを担っています。その製作過程を見学し体験することも可能です。このように、奈良は書道を学習する者にとって最も適した環境にあると言えます。



## 2 高等学校芸術科書道の免許取得

書道教育専修では高等学校芸術科書道の免許が取得できます。高校現場で直ぐに教育実践できる力を養うため、漢字・仮名・漢字仮名混じり文・篆刻・生活書式法・中国書道史・日本書道史・書道理論・書道科教育法などの指導力を培う授業が展開されています。

## 3 書家としての実力をつける

学外では、全日本高校・大学書道展で毎年最高賞を受賞したり、日本学生・生徒・児童書道展覧会(通称「日本学書展」)で上位入賞し、学内では奈良教育大学書道展、各回生別学内展などを催し、作品制作力を養成します。

学びの領域

## 芸術科書道教員としての資質を磨く3つの領域

2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学び、その成果を卒業論文としてまとめます。



書道教育専修の授業スケジュール

My Schedule

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法(社会)	漢字造形論				仮名創作法Ⅱ
3・4時限	書道(書写を中心とする)		日本文学概説Ⅰ	教育実習事前指導		正倉院の書蹟
5・6時限	日本文学特講	書道理論			生徒指導・教育相談Ⅱ	
7・8時限	漢字条幅研究	学校経営と学校図書館		中等教科教育法Ⅰ(国語)		
9・10時限				日本語学概説Ⅰ		



**書道(書写を中心とする。)**  
正しく整った文字の書き方を習得し、「書写」を指導できる力量を身につけます。



**書道理論**  
様々な書道理論を幅広く学ぶことにより、自らの書道に対する考えを確立します。



**仮名書法論**  
仮名の書法を、主に平安時代の作品から学びます。まねをして書くことで、筆者の気持ちになり、自然と筆遣いや構成の仕方が身につきます。さらに個別添削で確かな習得を目指します。

Student's Voice 在学生の声

「環境の良さは、お墨付き。」

書道教育専修3年生  
**近藤 寛幸さん**  
(愛知県立津島高等学校出身)



書道教育専修では、専門分野に長けた書道技術・知識の豊富な先生方からの教えは、基礎から創作まで傾向の違う調子の法帖を習い、技法や歴史・理論を学ぶ中身の濃い授業となっています。  
専修独自の行事で、毎年大学内で行う「フレンドシップ事業」があり、全国の高校生から希望者を募り、専修の学生自らが書道を教え、教育指導力を培います。校外では、奈良県/実行委員会様からの依頼を受け奈良の史跡である平城宮跡・藤原宮跡・飛鳥宮跡で催される祭典へ出向き(御朱印書き)をし、好評を頂いています。  
又、年間を通して様々な展覧会に作品を出品し仲間と共に技術を高め合っています。  
高校書道はもちろん履修科目次第で中学・高校の国語や小学校の教員免許・学芸員・司書教諭等の資格を取得することが可能です。  
やる気を持ち、向上心のある人「この指と—まれっ」

主な開講科目

楷書法/仮名書法論/書道史Ⅰ/行書法/古筆研究Ⅱ  
篆刻法/漢字条幅研究/仮名創作法Ⅰ/書道理論  
漢字作品研究Ⅰ/仮名作品研究Ⅱ/生活書式法

取得できる免許状

・高等学校教諭一種(書道)等(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

過去の卒業生の内大学教員になったものは30名以上、また、奈良県下、大阪府下共に、高等学校書道教員の半数以上が本学出身者であるという実績があり、ここ数年の卒業生は、小・中・高等学校の教員や、期限付き教員として採用されました。その他、公務員、企業、大学院への進学などです。

教員および専門分野(令和元年5月1日現在)

- ・豊田 宗児教授/漢字:古代文字漢字書法、古典文学・篆刻についての研究
- ・谷川 雅夫教授/書道史・書道理論・書道教育  
中国書道史、日本書道史、書道理論、書道教育についての研究
- ・北山 聡佳特任准教授/書道:仮名仮名書道全般についての研究